

いたしました



大変お待たせ

修正パッチ Ver1.1 配布開始

<http://laplacian.jp/newrin/>

Laplacian 公式 **BOOTH** 通販



第2弾&第3弾

アクリルキーホルダー販売開始!

<https://laplacian.booth.pm/>

chara1 oct.2017

春と四五の
抱き枕カバー
販売予定!

その他グッズ含め
詳細は次号にて!

**Laplacian
出展決定**

名称 chara1 oct.2017
開催日時 2017年10月15日(日)
開催時間 11:00 ~ 17:00 (予定)
会場 東京ビッグサイト 東展示棟 6ホール

Laplacian

Vol.020
HP
Twitter

2017年9月号
<http://laplacian.jp>
@laplacian_info



電気外祭り・大宮
感想レポート

2017年8月10日! 当日は、我が緒乃家の結婚記念日でした。クソどうでもいいですね。どうも緒乃です。

大宮のソニックシティで行われた電気外おとこまつりなんちゃかんちゃら。Laplacianもブース出展いたしました。

当日はなんと、イベント開催前から「laplacianブースに並んで下さる方がちらほらと!」これには我々、大変驚きました。「せっかく早起きしたのに、初手うちでいいんですか?」と、お一人お一人に問い詰めたい位に驚きました。ですが本当に嬉しかったです。

並んで頂いた皆様、本当にありがとうございます。

今回は特にイベントも行わずにまったりとグッズを販売していたのですが、遊びに来てくれた方とゆっくりお話ができて、我々にとっては意義のある時間になりました。

個人的に嬉しかったのは、足を運んでくれた皆さんが、お買い上げ頂くアクリルキーを、キャラクターの名前で指定してくれたことでした。前作の時は、発売後も「銀髪の子の、くささい」はい、時雨ですね。「あ、おっぱいの小さいツインテールの子の、くささい」はい、時雨ですね。「電波ソングの子の、くささい」はい、時雨ですね。と。時雨ばっかじゃないか! という感じなのですが、なかなかキャラの名前を認知してもらった難しさも感じていたので

す。そういう意味では今作は、より多くの人の心に、キャラクターが生きているのだなあ、と、一人で感慨にふけておりました。ゲームをプレイして足を運んでくれた全ての皆様、本当にありがとうございます。

Laplacian の今回のイベント出展は、2017年10月15日のキャラクター1になる予定です。まだ全てのラインナップが決まっている訳ではないですが、ニールンから「二三四五」「九十九春」の、ボインボインコンビの抱き枕カバーの販売は決定しています。こちらを乞うご期待! (緒乃)

メンバー後記

▼ワサビのこやき

今回の Laplacian 通信、なんと通算20号目です。すごいですね、続けてみるものです。20号目も続くと、どんなことが起こると思いますか?

そうですね、書くことがなくなるんです。取りかかっている作品について公開できる情報がない時は特に。つまり今です。ないんです、書くべき「laplacianのニュース」が。

あ、緒乃がシナリオで、上都在 Web デザインでお手伝いしている Dunde Software 様の「アイトリ」は大好評予約受付中です。是非このペーパーを受け取ったその足で予約しに行ってください。高まり続けている期待に応えられる作品になっているかと思えます。

僕は赤錆理沙という女教師のルートを担当しています。しかもこの女教師が、主人公の初体験の相手だったりするわけです。どうです、そぞろ設定でしょう。詳しいことは是非、公式サイト

ニュートンと 林檎の樹

タイトル：ニュートンと林檎の樹 ジャンル：コミカルタイムトラベル ADV 発売日：2017年5月26日
企画原案・シナリオ：緒乃ワサビ / 原画：ペコ太郎、べれっと、霜降 / SD原画：霜降 / デザインワーク：上都河希

各種販売店 及び DMM にて DL 版
好評発売中！



タイトル：キミトユメシ ジャンル：キミと夢見る初恋 ADV 発売日：2016年7月29日
シナリオ：緒乃ワサビ / 原画：霜降 / デザインワーク：上都河希

トを見に行ってみて下さい。『これが、老舗ブランドの本気のフオリティか……』と、美少女ゲーム業界に一筋の光を見いだせることでしょう。勢いと悪ノリだけで3作目まで来てしまった我々「laplacian」、大いに勉強させてもらっています。

さておき。

毎月こうしてその場しのぎなコラムを書き続けるのもそれはそれで楽しいんですが、というかむしろ、行き当たりばったりな文章を書くのは、結構好きな作業ではあるんですが、せっかくこうして毎月配布しているわけだし、アーカイブもしているわけだし、なにか面白い企画を立てられないものかと思っわけです。

例えば、デビュー作『キミトユメシ』のスピノフ小説とかね。ファンディスクが作れるわけじゃないですが、本編が赤字なんだから。

更に例えば、二作目『ニュートンと林檎の樹』のアフターストーリーとかね。この辺は、気持ちとしてはもちろんやりたいんですが、一度始めたら尻狭みにはしたくないし、そもそもある程度まとまった分量のものをWebに掲載した方がいいのでは？ と思う訳なんです。

新聞の連載小説は毎日だからいいけど、月連載でたかだか2段か3段の分量だったら、短編の分量でも完結するの3年くらいかかるんじゃないかと。

あ、もうこの「laplacian」通信を新聞みたいに毎日出せばいいんじゃないか……。と思いましたが、どう考えてもより深刻な企画不足になることは明白なので、やはり月刊配布を続けましよう。(緒乃)